



事業報告シート

事業分野	もの・まち・くらし・その他		登録日	令和5年5月20日	
事業名称	令和5年青年建築士の集い 北見大会				
開催日時	令和5年5月20日(土)13:30~17:00		北見芸術文化ホール きたアート		
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんかい				
活動団体名	北海道建築士会 青年委員会				
事業の目的	今後の地域実践活動の在り方を模索することを目的とし、活動内容が充実している札幌支部の地域実践活動の発表を聞き、地域に根ざした建築士として何が出来るか、今後の活動の方針を考える場として開催する。				
主な事業内容	<p>第1部 街歩き～避難経路散策～ 防災や避難の観点から北見のまち歩きを行う。会場であるきた・アート21が避難所に指定されていることから、会場周辺を歩き実際に感じてもらうことにしました。建築士の視点から意見を抽出してもらうことにしました。</p> <p>○第2部 Doはぐ～避難所運営ゲーム～ 街歩き後8グループに分かれDoはぐを開催。あらかじめ用意されたマップにカードが読み上げられ、多様な意見が交わされていきました。建築士の視点から与えられたマップは徐々に埋め尽くされ、避難所のあるべき姿が多様に生成されていきました。疑似体験をできるカードゲームですが、青年委員の多くが実感として、防災に対する意識を高めることができるいい機会となりました。</p> <p>○第3部 Workshop 北見市内の「まち歩き」「Doはぐ」と続き、総括を含め「ワークショップ」で総括を行いました。まち歩きについて「防災マップ」を作成し、「Doはぐ」の結果に基づく感想と併せて発表していきます。8グループの中で意見や課題を話し合い、最も印象深かったことや共感できたこと、さらなる改善点や問題点、予測される防災・避難の観点を多様な意見や知識の中から抽出され、8グループによって防災マップを完成させていく発表が行われました。</p>				
事業収支	会場費、事務用品代、他				
参加者	本部	青年建築士			合計
	5名	69名			74名
建築士の関り	建築士会員（青年建築士）の資質向上を図る事業				
今後の検討課題	<p>例年「青年建築士の集い」にて地域実践活動の報告を持ち寄り、全国大会への発表を継続していましたが、それが困難とわかり行うことができない状況の中、青年委員会としては「青年建築士の集い」である種の事業を展開し、有志の意見を募り、ここで生きた意見を北海道としての地域実践活動報告の発表の場として持ち寄ることを目的としました。今回は道東ブロック事業の一環として北見支部を中心とした道東ブロック青年委員が一丸となり「青年建築士の集い」を開催することができました。</p> <p>我々、建築士は同じ志を持つ仲間です。支部内でも会員の減少で悩み、事業の継続が困難となり、やがて衰退していくことは避けなければなりません。そんな時こそ気軽に他支部に応援を求めていくことや、連携して活動を行っていく協力体制が必要になっていくのではないのでしょうか。この時代に我々青年が衰退してしまうことこそが危機的な状況であることを理解しつつ、道東ブロックが連携を高めていくことができた「青年建築士の集い」の在り方が目指すべき方向だと少し見えた気がしました</p>				
連携・協力組織等					
活動状況写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>街歩きの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワークショップの様子</p> </div> </div>				
ふりがな	ほっかいどうけんちくしかい せいねんいんちよう ささきつよし		TEL/FAX	011-251-6076 / 011-222-0924	
事業代表者氏名	北海道建築士会 青年委員長 吉田 徹		E-mail	info@h-ab.com	
団体所在地	北海道札幌市中央区大通西5丁目11番地		URL	http://h-ab.com/committee/seinen/	